

# 青陵



## 倉敷青陵高校 同窓会本部総会ご案内

令和8(2026)年8月2日(日)

毎年夏恒例の倉敷青陵高校同窓会本部総会を下記の要領で開催します。先年のコロナ禍もあり、参加者が年々減少傾向にあります。特に40期以降の卒業生のご参加を期待しています。お誘い合わせの上、ご参集くだされば幸いです。

記

- \*日 時 令和8(2026)年8月2日(日)午前10時から
- \*会 場 倉敷市本町 倉敷アイビースクエア
- \*会 費 6000円(チケット制、当日券あり)
- \*当番幹事 9と0の期

〈チケットは各期の理事・評議員または同窓会本部事務局(086-422-8001 青陵高校)の同窓会係へ直接お問い合わせください〉

### 東京青陵会

6月6日(土)午後2時～  
東京・ホテルルポール麹町

### 近畿青陵会

5月24日(日)正午～  
KKRホテル大阪

### 九州青陵会

11月14日(土)午後1時～  
ソラリア西鉄ホテル福岡

# ごあいさつ

## 同窓会会長 德田 政太郎(35期)

同窓生の皆様には、平素から同窓会活動にご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

この度、前会長岡田展弘氏の後を受け会長に就任しました35期の徳田政太郎でございます。各界でご活躍の諸先輩がおられる中での大役に、身の引き締まる思いがしております。

わが同窓会は歴代会長・役員をはじ

## 母校と同窓生の絆 さらに深化

め多くの皆様のご尽力により充実発展してまいりました。しかし時代の変化の中で、情報発信の在り方や若い世代の同窓会離れなど幾つかの課題を抱えていることも事実です。同窓会が、これからも同窓生相互、そして同窓生と母校を繋ぎ続けていけるよう、微力ながら誠心誠意努力する所存です。

皆様のご支援とご協力を宜しくお願ひいたします。

[略歴] とくだ・のぶたろう 岡山県庁から鴨方町役場（現浅口市役所）へ入り企画財政部長を最後に退職。現在は玉島精機㈱勤務。本部同窓会副会長を5期務めた。在学中は剣道部から社会科学研究部。倉敷市在住。

## 国際社会のリーダーを育成



教頭 岡野 太郎

同窓生の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申上げます。また、平素より青陵高校にご支援とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

私は令和6年度に教頭として赴任しました。伝統ある青陵高校の一員として、様々な活動に関わらせていただきました。

ていただき、日々驚きと感動を味わっております。

今、青陵高校は、生徒の皆さん「高質な学力」を身に着け、将来、地域社会や国際社会でリーダーとして活躍するために、文部科学省の採択を受けたDXハイスクール事業を始めとして、様々な取り組みを行っております。

今後も「永遠の理想」を追求し続ける青陵高校への変わらぬご支援とご協力、そしてご声援を賜りますよう、よろしくお願いします。

200人  
参 加

## 5代目会長に徳田政太郎さん(35期)

「久しぶりじゃなあ」一。連日40度超えの暑さの続く中、倉敷市内外から例年並みに卒業生約200人が集いました。永井裕(19期)、土家楨夫のお2人の校長OBにも臨席いただきました。

総会では岡田展弘会長(25期)、泉浩明校長(名誉会長)のあいさつに続き、前年度の行事、決算・会計監査報告、令和7年度の行事、予算案を、いずれも承認しました。役員改選では4期8年務めた岡田会長が退任、徳田政太郎副会長(35期)の会長案、さらに来期からの総会会費6000円(現行4000円)値上案をいずれも承認しました。

顧問となつた岡田前会長に花束が贈られ、5代目会長の徳田さんが、「若い世代の参加促進など課題を抱えていますが、歴代会長の取り組みを基礎に同窓会の発展を行つております。

今後も「永遠の理想」を追求し続ける青陵高校への変わらぬご支援とご協力、そしてご声援を賜りますよう、よろしくお願いします。

## 磁器作家・木村知子さん(40期)の近作

(表紙の作品) この道30年の磁器作家・木村知子さん(40期)の近作「呉須絵花文(かもん)蓋物」(第68回日本伝統工芸中国展日本工芸会中国支部長賞受賞)。木村さんは倉



ギターをソロ演奏する原孝吏さん  
畿、九州 東京、近畿、九州 来賓の各青陵



勢いよく乾杯する参加者

トがあり、前年まで倉敷市副市长を務めた原孝吏(たかし)さん(28期)がビートルズのヒットナンバー「レット・イット・ビー」をソロ演奏し、友人夫妻が本場のフラメンコギターとダンスを披露、会場を一気に和ませてくれました。

「久しぶりじゃなあ」一。連日40度超えの暑さの続く中、倉敷市内外から例年並みに卒業生約200人が集いました。遠藤堯之さん(8期)の発声で乾杯、開宴しました。ミニコンサートがあり、前年まで倉敷市副市长を務めた原孝吏(たかし)さん(28期)がビートルズのヒットナンバー「レット・イット・ビー」をソロ演奏し、友人夫妻が本場のフラメンコギターとダンスを披露、会場を一気に和ませてくれました。

## 同窓会本部総会

(令和7年8月3日、倉敷アイベースクエア)

敷市生まれ。高知大学教育学部特設美術工芸課程(木工)を卒業、岡山県立大学大学院デザイン学研究科工芸工業(セラミック)を修了。田部美術館「茶の湯の造形展」入選2回、倉敷市文化連盟奨励賞など受賞多数。年1、2回、倉敷や岡山、東京で個展。現在、日本工芸会正会員。

円を提案しましたが、「当番幹事の折、(値段が高くて)同期を誘いにくい」「参加者が減る」などの意見が出て6000円案に落ち着きました。

**料理の充実へ  
総会会費6000円に**

総会議案の中では、総会会費の値上げ案が提案されました。原案通り6000円（現行4000円）で承認されました。値上げは5年ぶりです。

「懇親会の料理が少ない」という指摘に対応したもので、理事会で執行部は当初8000

叙  
勲

## 「文武不岐」提唱、OB著作物収集提案

令和7年5月の叙位叙勲で、青陵高校第15代校長・鴨頭（かもがしら）脩先生が従五位を受章しました。平成9年に成羽高（のち合併）校長から着任、3年間在任しました。令和7年4月12日に85歳で逝去されました。

## 第15代校長 故鴨頭脩先生に従五位

同校長は退任前後、校訓となった「文武不岐」を提倡、創立100周年に向けた記念事業の一環として「卒業生の著作物を集めよう」と提案、図書館に「卒業生著作物コーナー」が設けられました。現在では100冊を超える寄贈本があります。

# 九 州 青 陵 会

(令和7年11月8日、  
ソラリア西鉄ホテル福岡)



## 参加した九州青陵会メンバー

ふりの女性も  
徳田新会長、泉校長、  
事務局・林先生と九州  
の卒業生ら計13人が参  
加しました。このうち  
2人は学生で、九州大  
学の院生と長崎大学の  
1年生です。「長崎大学  
からは初めて」(加藤会  
長)だそうです。20年  
ぶりに来てくれた福岡  
の女性も含め、お互い  
が近況報告、和やかな  
会になりました。

元在職教員村上裕亮（ゆうすけ）さん（59期）＝鴨方高校教諭＝が、貨幣の収集・研究専門誌『収集』2025年5月号から5回にわたり研究論文を発表しました。

村上さんは古銭収集歴4年になり、江戸後期の銀貨「天保一分銀（いちぶぎん）」を好んで収集しています。今回の論文は現物購入やネットの画像検索により1000枚近い一分銀を詳細に分析した結果です。

5月号は「天保一分銀『表(おもて) T(分類記号)』書体に関する分類と考察」と題して3ページにわたり

元在職教員 村上裕亮さん(59期)

①「T」について

# 一分銀「表T」書体に関する分類と考察

はじめに

「ヘ山銀」と「人山銀」について

で十の二種心の注意を取つてこの一書を分類しました。

て連載した古  
り

## 古銭の研究論文を専門誌に連載



天保一分銀の文字部分に関する考察をまとめています。

同じ天保一分銀でも、「銀」の文字の金偏(かねへん)部分の「へ山銀」と「人山銀」、書体の「大字」と「小字」の違いがあり、さらに裏面の書体について細かく虚検、分かりやすい写真も付けています。

「論文はまだ序論。次の連載予定もあります」という村上さんは、「青陵時代に培った勉強の姿勢が役に立っていますね」と、手応えを感じています。

# 東京青陵会（令和7年6月7日、 東京・ホテルルポール麹町）

理事 中 村 弘（29期）

総会には、来賓を含め昨年より10人多い計70人の方々にご出席いただき、大変賑やかな会となりました。ご臨席いただいた泉校長、武部本部同窓会副会長、倉敷市東京事務所の木村所長、本部同窓会事務局の林先生、

会・懇親会のご案内や出欠確認は電子メールおよび東京青陵会ホームページを通じて行っています。関東近郊にお住まいでのまだメールアドレスを登録されていない方は、東京青陵会ホームページ（<https://tokyo-seiryoo.jp>）にアクセスし、トップページの「メールアドレスのご登録ならび

## メール案内2年目 10人増え70人参加

そしてご参加くださった東京青陵会の皆様に心よりお礼申し上げます。

会場では、料理を楽しみながら、あちらこちらで旧交を温める会話が弾み、和やかで楽しい時間があつという間に過ぎていきました。

元応援団長の武本東京青陵会顧問（25期）による演舞に合わせた校歌齊唱、恒例の集合写真撮影もあり、再会を誓い合つてお開きとなりました。

なお、昨年度より、総

アドレス登録を

にご連絡・お問合せはこちから」と書かれたバナーにより登録をお願いします。今後は電子メールでご案内をお届けします。

令和8年度の総会・懇親会は、2026年6月6日（土）午後2時より「ルポール麹町」で開催する方向で調整中です。皆様とお目にかかるのを楽しみにしています。



## 東京青陵会出席 MVPは28期！

総会出席者数 MVPは28期！ 令和7年2月、東京青陵会事務局から最近の総会参加に関する統計資料（令和5、6年度）が送られてきました。

それによると、会員名簿は平成27年度には2252人いましたが、8年後の令和5年度には1481人と35%も減りました。内訳は東京都が一番多く473人と32%を占め、神奈川、千葉、埼玉の1都3県で88%です。静岡、茨城、栃木、群馬、山梨など関東近辺にもいます。

総会出席者は令和5年度の90人に対し6年度は55人と40%も急減しました。事務局によると、原因の一つを「総会案内を郵送から電子メールに切り替えた最初の年で周知不足があったかもしれません」と分析しています。

卒業期別では28期の参加者が最多です。28期は兩年度とも最多の11人が参加、会費納入のみの人も2年で

計12人います。活動をしっかり支えているようです。21期、35期がこれに続きます。

卒業期1けたから18期までの会員が高齢化により参加者が減り、41期以降はゼロに近い状態です。活動は実質的に19期（76歳）から40期（55歳）の22年間の卒業生です。かなりの高齢化ですが、41期以降の参加が今後の願いです。

この現象は東京青陵会だけでなく、本部、近畿、九州の各同窓会の共通の悩みでもあります。

（編集室）

□…資料提供：日岡秀和事務局長（30期）

直近  
2年 41期以降ゼロに近い状態

# 近畿青陵会

(令和7年5月25日、  
シェラトン都ホテル大阪)

幹事  
三宅久裕  
(28期)



母校の泉校長をはじめ、小銭本部同窓会副会長、事務局の林先生をお迎えし、最年長7期卒業の小西忠明さん以下、総勢54人の方々の参加を頂いての開催となりました。朝方は前日からの雨で欠席者を心配しましたが、ご連絡を頂いた全員の方が来場、盛大な会になりました。

泉校長からの母校の近況では、少子化で県内の高校の生徒数が減っていること、厳しい状況のもとでも青陵高校は先進的学習に取り組む環境にあると

## 部活、受章 54人和やかに歓談

の話を伺いました。「へえ」「そんなんだ」の声が各テーブルから上がり、多くの方が母校の躍進に改めて誇りと期待を持った様子。小銭副会長からは、近畿青陵会会員の9期石部修平さんが

間を従来よりも長く設定、久しぶりに会う同級生や先輩、後輩の間で和やかに語らい、再会を楽しむ時間を過ごすことができました。各テーブルの代表者スピーチでは、小西さんがハンドボールに打ち込んだ話、サッカーの話、近隣で飼われているヤギの話など、笑いの絶えない時間となりました。

今年春の叙勲で旭日双光章を受章されたことも紹介して頂きました。

トントン都ホテル大阪のご厚意で、歓談時

全員で校歌齊唱する頃には雨もすっかり上がり、気持ち良い初夏に戻る中、「また来年」を誓いつつ、皆さん無事にお帰り頂きました。

取材・中田信治さん  
(37期)

山陽新聞に掲載された中田  
信治記者の記事 || 令和7年  
7月20日付

## 関西万博で活躍



約160の国と地域が参加した世紀のイベント、大阪・関西万博が令和7年4月から10月まで大阪市・夢洲(ゆめしま)で開かれ、期間中、国内外から2500万人超が訪れ、地球の未来像と思い出を心に残して閉幕しました。

青陵関係者も取材活動、イベント参加などで万博の盛り上げにひと役買いました。主な人を紹介します。

山陽新聞大阪支社長・中田信治(のぶはる)記者(37期)=写真=は期間中、岡山県観光キャンペーンや万博ボスターコンテストなど10件を取材して記事化、紙面を飾りました。



「世界的なイベント取材は初めてで、高揚感がありましたね。岡山関係を中心とした楽しい取材活動でした」と振り返っています。

## 行事支援・澤田虚遊さん

21期

青陵時代は柔道部で初段です。長男昂(たか)宏さん(73期)は陸上競技部の短距離選手として活躍しました。

日本書芸院常務理事・澤田虚遊(眞示)先生=21期=は、5月の「未来へつなぐ日本の書」という同書芸院主催のイベントに参加しました。

全国の書道家に交じり岡山県書道連盟の書家約30人の一員として5日間、同書芸院の正副理事長らの即興揮毫にスタッフとして協力、サポートしました。

「私のパフォーマンス? いやいや朝から夕方まで会場設営や揮毫準備ですよ。パフォーマンスをしたのは日本書芸院の大先生、(正副理事長)たちです。万博の雰囲気は味わえました」と、苦笑いしていました。

澤田さんは本紙の題字『青陵』揮毫者で、早島町で(一財)関西書芸院を運営しています。青陵時代は山岳部でした。

# ウクライナゆかり 沖アンナ(杏奈)さん=73期

母国のウクライナが戦禍で苦境にありますが、ウクライナ人を母にもつ73期生・沖アンナ(杏奈)さん=鳥取大生=らと民族交流しようと、倉敷東ロータリークラブが主催して令和6年9月15日、倉敷アイビースクエアでイベントが開かれ、市民や県内に避難するウクライナ人ら約100人が参加しました。



ウクライナの民族楽器を演奏する沖  
アンナさん(倉敷東ロータリークラブ  
提供)／倉敷アイビースクエア

ドゥーラを演奏しました。

ファッショショニエには青陵高校のダンス同好会11人が出場、3人がイベントのサポートをするなど、大いに協力して会を盛り上げました。

同ロータリークラブが人道支援活動と高校生の平和教育を狙いに初開催したので、遠藤堯之さん(8期)らが会員として活動しています。

倉敷生まれのアンナさんの

ウクライナとは東欧に位置する旧ソ連から独立した共和国。首都キーウ。人口約4160万人。世界有数の穀倉地帯として有名だが、2022年2月に始まったロシアのウクライナ侵攻により両国は戦争状態にある。ロシアの海上封鎖により小麦やトウモロコシなどの穀物輸出が厳しく、世界的な供給不足となっている。

父がウクライナに日本語の先生として赴

任、現地女性と知り合い結婚して帰郷、一家は倉敷に住んでいます。

アンナさん母子は「皆様のご協力で少しでもウクライナという国を知っていただければうれしいです」と感謝していました。

## 交流イベントで民族楽器演奏

倉敷が舞台の映画

### 『蔵のある街』公開

倉敷市を舞台に製作を進めた映画『蔵のある街』(平松恵美子監督／倉敷南高出身)が完成、令和7年7月に倉敷で先行上映、8月に全国公開されました。

この映画の製作実行委員会会長に、10期の岡荘一郎さん(倉敷製帽㈱会長)、代表理事に平松監督の中学校時代の同級生で、37期の渡邊一司さん(㈲八幸社長)が参加、中心的な役割を担いました。

さらに、2



岡荘一郎さん

人の母校である青陵高校が口ヶ地の一つに選ばれました。映画のロケ地に青陵が選ばれたのは初めてかもしれません。



渡邊一司さん

映画は自閉症の兄をサポートするヤングケアラーの友達を元気づけるため、美観地区の鶴形山から花火を打ち上げようと奔走する高校生たちを

## 口ヶ地青陵 冒頭いきなり美術教室



青陵高校美術教室で映画口ヶの設営をする関係者=令和6年7月25日

1億円に膨らんで大変だったんですが、倉敷市や倉敷、岡山の企業を回つてお願いしました。映画はいい出来栄えです。多くの人に見てもらつて、ぜひ倉敷に来てほしいですね」と期待していました。

□：渡邊一司さんは青陵時代、野球部でした／本稿の一部は令和6年4月11日付、7月18日付山陽新聞を参考にしました。

岡荘一郎さん(10期)、渡邊一司さん(37期)製作に貢献

描いています。

3年かかりで完成した映画は100分にまとめられました。この中に青陵高校美術教室が登場しました。同6年7月25日に行われた撮影で、主役の紅子が一度はあきらめかけた絵の道へ進む決断を美術教師に告げるシーンでした。このシーンは映画の冒頭と真ん中あたりに編集されています。

岡さんと一緒に資金を集めました。ゼロからスタートで、最初3000万円の予定が

# 道ひとすじ60年

が受章しました。  
もともと音楽  
が好きで中学で  
吹奏楽部に入部、ト  
ロンボーンを担当し  
たのがきっかけでした。青陵ではもちろん吹奏楽部で活動、青陵祭ではステージ発表しました。

スティージで指揮をする佐藤道郎さん＝令和3年ごろ



佐藤さんは「無限にある曲目を通して多くの音楽や人との出会いがありました。元気の源です」と益々、意気軒高です。

□：最近の青陵関係の倉敷市文化章受章者は小山裕章、福島隆壽（以上元在職教員）、岡本篤（13期）の皆さんです。

令和6年度の倉敷市文化章を、この道ひとすじ吹奏楽60年のキャリアを誇る元岡山県吹奏楽連盟理事長・佐藤道郎（みちろうさん）（22期）

樂科で得意のトロンボーンを専攻みつちり腕を磨きました。教職に就き音楽科目と吹奏楽部を指導指揮棒を振りました。倉敷中央高校や倉敷南高校で教頭職を務め定年退職しました。

## 倉敷市文化章 佐藤道郎さん（22期）＝吹奏楽＝

倉敷の生んだ将棋・大山康晴名人（のち十五世名人）とともに将棋の普及に取り組んだ北村実さん（3期）が、令和7年7月、岡山県文化賞を受賞しました。

北村さんは大学時代に将棋と出会い、大山名人の知遇を得るとともに後輩を指導、弟子の中から菅井竜也八段＝岡山市出身＝が王位のタイトルを獲得しました。女性の公式タイトル「倉敷藤花」戦の

## 岡山県文化賞

### 北村 実さん（3期）

#### ＝将 棋＝

創設にも尽力するなど60年にわたり将棋界の発展に貢献してきました。

この間、山陽新聞賞（社会功労）、倉敷市文化賞を受賞、日本将棋連盟公認指導員の最高位「棋道正師範」を委嘱されています。現在は倉敷市大山名人記念館長です。

北村さんは「頑張ってきたことは確かですが、（受賞は）お恥ずかしいですよ」と謙遜していました。



卒業後初の同窓会で盛り上がった72期生

## 167人参加、留学経験や就職話次々

### 卒業後初 72期同窓会

必ずりますよ。

（佐藤亞弥）

△11月9日 倉敷青陵高校（倉敷市）  
天高く馬肥ゆる秋晴れの下、青陵陸上部顧問勤続21年の広瀬先生を讃む会が開催されました。卒業生たち約30人が集い、人生100年時代の先生のさらなるご活躍、青陵陸上部のご清栄を祈りました！（赤穂由望奈）

## 倉敷青陵高校陸上競技部 広瀬洋介先生を讃む会

（赤穂由望奈＝あこう・ゆみな＝さんは60期です。令和7年1月13日付山陽新聞「集い」コラムより）

令和7年1月4日に倉敷アイビースクエアで、卒業後初めて開きました。学年団の恩師8人と同窓生159人の計167人が参加しました。5割という高い出席率で、地元はもちろん東京や関西、四国、山口などから来てくれました。卒業間近の大学4年生が多く、在学中は海外旅行や留学を経験、充実した学生生活を送ったようです。さらに就職や進学の話で盛り上がりました。就職は公務員や教員、民間会社など多彩、大学院進学者もいます。全員でbingoゲームを楽しみ、最後に先生方に花束を贈呈しました。次回のこと